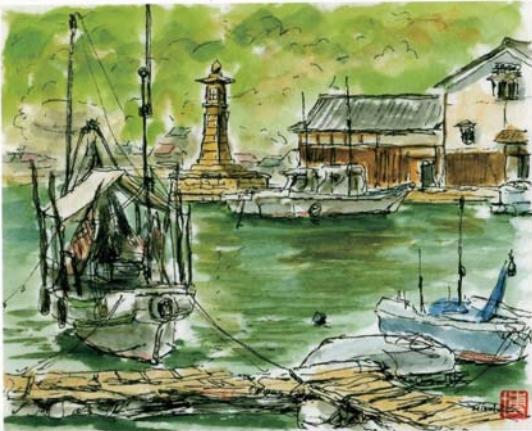


## 私の写生地

### 広島・鞆の浦を歩く

会員 西野 博樹



◆ 鞆港 水彩 F0



◆ 鞆港 水彩 F0

示現会展では初出品の時から主に奈良の風景を描いているのですが、奈良同様に好んで足を運んでいるのが広島県福山市の鞆の浦です。街の中心となる漁港「鞆港」には、常夜燈・雁木・波止などが、江戸時代のままの姿を残し、昔ながらの街並みには良い意味で華やかさとは無縁の静かな情景があり、スケッチを

存分に楽しめます。  
私自身、スケッチでは油彩も水彩も使いますが、鞆への旅では小さなスケッチブック（F0）と、コンパクトな水彩セットで気軽に歩くことが多いです。

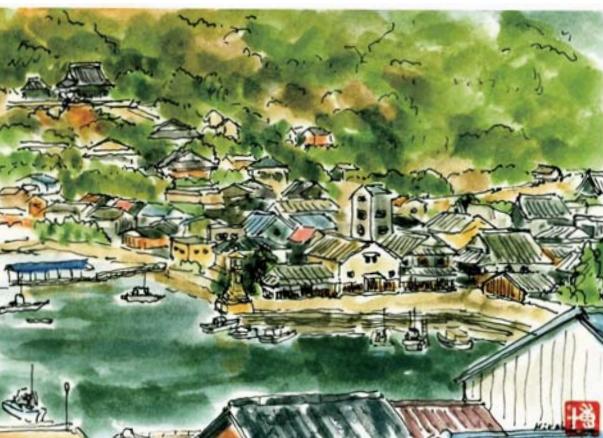
そんな鞆へはJR福山駅からバスで三十分ほどで、車の場合でも駐車場があります。徒歩圏内にコンビニ

から描くことができ、港周辺だけでも何枚ものスケッチが可能です。港の南には波止があり、その先端あたりから観る街並みも良いものです。そこからさらに歩き、港の東南の高台、円福寺からも港を描けます。（ちなみにこのあたりにはネコが多く、荷物によつてきますので要注意です。）港の周辺を描き、街の路地に入れば、古い船の板を使った蔵や、地元の名品「保命酒」にまつわる古い倉庫などがあり、初めてのときはスケッチブックをしまうヒマもないほどあちこちを描いて歩きました。

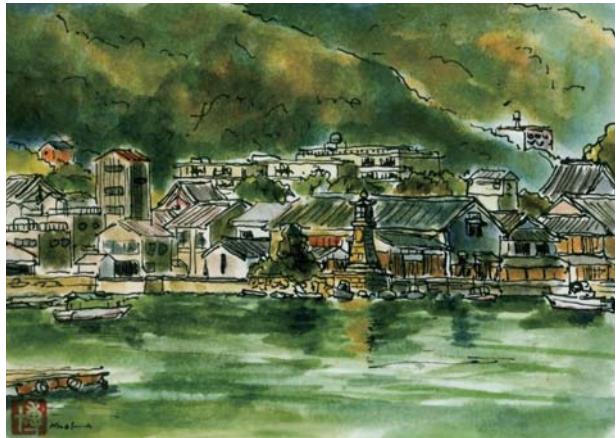
そんな街並から北西の坂道を上ると医王寺があり、そこからの展望も素晴らしいもので、その坂道自体も素白いモチーフになります。

等ではなく、スーパーマーケットが一件だけですが、街の中には小さなお店は数件あって食事はとれますし、スケッチでは重要なトイレも各場所に数ヶ所ありますので、一日中描いていても安心です。

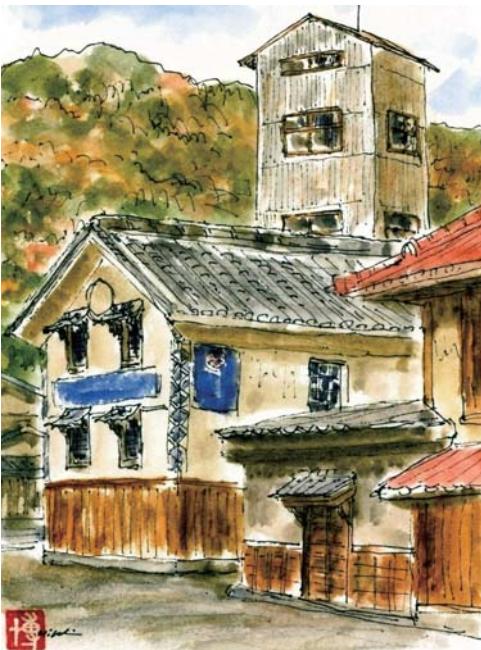
### 福山駅からバスで、終点の「鞆港」



◆ 円福寺より 水彩 F0



◆ 波止からの街並み 水彩 F0



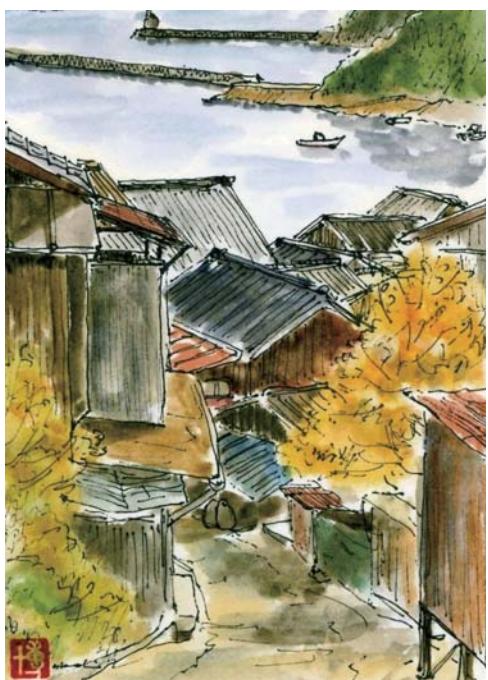
◆ 古い倉庫 水彩 F 0

帰りのバスの中  
ではすでに、次は  
いつ来ようかと考  
えているのですが、  
何度訪れてもその  
たびに新たな感動  
をもらえる鞆の浦  
には、これからも  
幾度も足を運ぶの  
だと思います。

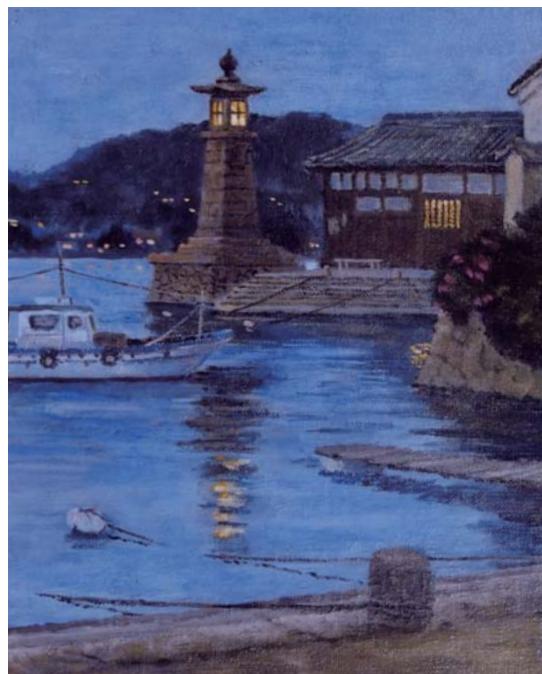
ら見下ろす街と港の景観は、個人的に一番好きな情景で、ここは水彩や油彩で何枚も、鞆にくるたびに描いています。鞆のどの風景も、季節や時間で様々な表情を見せてくれるのですが、特にこの場所には夕方にも必ず立ち、明るいうちに一枚描いた後、空の色がかわり、常夜燈にあかりが灯り…と、刻々と変わっていくのをながめています。

そして日が暮れると、数少ないお店もほとんど閉まり、観光客もパツタリといなくなり、鞆の街はウソのように静かになります。聞こえてくるのは港の船がギシギシいう音と、雁木による水の音のみ。その水面

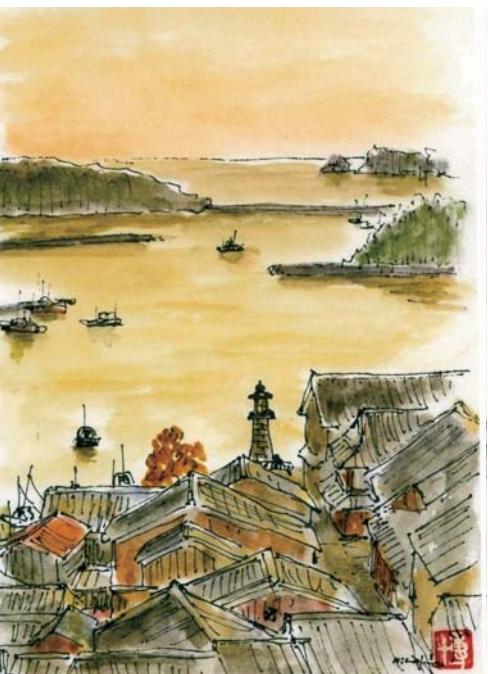
には常夜燈の灯が揺らめき情緒にあふれた風景をみせてくれます。ちょうど良い場所に街灯でもあればそんな情景も描きたいのですがそうもいかず、ここではそれを頭に焼き付けつつ鞆を後にします。



◆ 鞆の坂道 水彩 F 0



◆ 鞆港 油彩 F 3



◆ 鞆の浦風景 水彩 F 0